

## アスクルの環境への取り組み

Project

1



1 box  
for  
2 trees



Project

4

グリーン商品



アスクルのインドネシア製コピー用紙5,000枚(A4,1箱)には、原材料となるユーカリの植林木が1本必要です。コピー用紙1箱に対し、原材料の2倍となる2本の植林を確認しています。植えて、育てて、収穫する。5年で1サイクルのプロジェクトは8年目になりました。「木の畑」はこれからもずっと続けていきます。

「グリーン購入法適合商品」「エコマーク認定商品」「GPNエコ商品ねっと掲載商品」のいずれかに該当すると確認できた商品に対し「グリーン商品リスト掲載品」マークを付け、お客様がグリーン購入を行う際の目印にいただいています。

Project

2

20ha Project



Project

5

FSC&PEFC



インドネシア・スマトラ島のUNESCO MABプログラムに認定された地域で「森を守り、森を直す」ため、2011年に地域住民と共同でインドネシア固有種の植樹。保護地域が人の暮らしとどのように共存共栄できるかを考えています。

コピー用紙・封筒・ノート・家具などのさまざまな製品は、森林資源から作られています。森林認証制度は、独立した第三者機関が、適切に管理された森林から収穫された木材を使って製造された製品であることを認証し、その森林から生産された木材・木材製品にラベルを付けて流通させる仕組みです。FSCとPEFCの2つの制度が国際的に普及しています。

Project

3

ベトナムでの森林管理と生計向上



Project

6

レインフォレスト・アライアンス認証農園から生まれたおいしいコーヒー




他の企業と協力して、ベトナム国ディエンビエン省の森林管理とコーヒー農家の支援を実施しています。森林を守ることによって地球温暖化防止への貢献も目指しています。現地では、毎年コーヒー豆を収穫しています。

アスクル限定販売「ダラゴア農園ブレンド」は、環境保護や持続可能な暮らしの確保を支援するレインフォレスト・アライアンス認証を取得したブラジルの農園産の豆を使用したオリジナルコーヒーです。飽きのこないおいしさだけでなく、安心・安全な原材料を使用し、環境にもやさしくという思いから生まれた商品です。

Project

7


仕入・調達



Project

9

「ゼロエミッション」と「もったいない」活動




サプライヤー様の倉庫からアスクルの物流センターに納品する段階で、納入車両から排出される調達に伴うCO<sub>2</sub>の「見える化」に取り組んでいます。これらのCO<sub>2</sub>排出量データを活用し、海外調達商品において国内輸送時のモーダルシフト化や、調達ルート効率化・改善を実施しています。また、海外生産品は同じ地域で生産される別々の商品を1つのコンテナでの輸入も始めています。

商品仕入れ時の梱包資材削減による廃棄物量の削減、ダンボールや古いカタログなどの不要な紙資源や、廃プラスチック・金属等のリサイクル率の向上など、「再資源化率100%」を目標に、循環型社会の実現を目指しています。また、食品の期限管理を徹底して行うことにより無駄な廃棄をなくす「もったいない」活動に取り組み、食品廃棄の削減にも大きく寄与しています。

Project

8



物流センターに再生可能エネルギーを導入



Project

10

本社オフィスは環境に配慮した木材を使用



再生エネルギー導入計画の第1段階として、ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社が提供するグリーン電力「グリーンナ」「GREENa RE100プラン(グリーン電力証書を活用した100%自然エネルギーの電力プラン)」を、仙台・大阪・名古屋・福岡の4つの物流センターに導入しました。2018年7月1日時点で、本社、物流センター、子会社を含めたグループ全体の電力使用量の約25%を再生エネルギーに切り替えました。これからも再生可能エネルギーの導入にむけた取り組みを促進してまいります。

豊洲本社オフィスの商談スペース等に国内の杉の間伐材(東京都奥多摩産を約1.3トン、岡山県西栗倉村産を約3.8トン)を使用しています。ナチュラルな木の温もりを感じられる、環境に配慮したオフィスとなっています。

Project

11

ラベルレスペットボトルのミネラルウォーター



Project

12

エコ・ファースト企業に認定



「LOHACO Water 410ml」は、お客様の声や世界的なプラスチック製品大幅削減の動きを受け考案された、環境に配慮した小容量タイプのミネラルウォーターです。ボトルは直接刻印を施したラベルレスボトル。廃棄の際、1つずつラベルフィルムをはがす手間が省け、フィルムをなくすことで余計なごみを出さず、環境に配慮した設計を追求しました。

Project

12

エコ・ファースト企業に認定



Project

14

SBT認定取得




環境省が実施する「エコ・ファースト制度」は、企業の各業界における環境先進企業としての取り組みを促進することを目的としています。アスクルは、国際イニシアチブである「EV100」「RE100」への加盟、CO<sub>2</sub>削減に向けての取り組みなど、サステナブルエコプラットフォームへの取り組みが先進性・独自性があると判断され、EC業界で初の認定となりました。

アスクルが設定した温室効果ガス削減目標が、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets(SBT)」により認定されました。SBTは、産業革命時期比の気温上昇を「2℃未満」にするために、企業が気候科学(IPCC)に基づく削減シナリオと整合した削減目標を設定し、SBTイニシアチブにより認定を受けるものです。2016年に「2030年CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ」を宣言し、2017年には国際的なイニシアチブである「RE100(Renewable Energy 100%)」と「EV100(Electric Vehicle 100%)」に加盟しました。事業所・物流センターからのCO<sub>2</sub>排出量をゼロに、またお客様にお届けする車両(子会社所有またはリース)からのCO<sub>2</sub>排出量をゼロにする取り組みを進めており、この取り組み目標がSBTに認定されました。

Project

13


Japan-CLPに参加



Project

15

省資源梱包でのお届け



日本気候リーダーズ・パートナーシップ(Japan-CLP)は、持続可能な脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下に設立された日本独自の企業グループです。持続可能な脱炭素社会への移行に先陣を切ることを自社にとってのビジネスチャンス、次なる発展の機会と捉え、政策立案者、産業界、市民などとの対話の場を設け、日本やアジアを中心とした活動の展開を目指します。アスクルは、2014年から参加しています。<https://www.japan-clp-jp/index.php>

2016年4月、アスクルの配送を担当ASKUL LOGIST(株)が電気自動車(日産自動車e-NV 200)を10台導入しました。電気自動車での配送は「排気ガスを排出しない」「走行時のCO<sub>2</sub>排出がゼロになる」など環境負荷低減に役れています。※2017年11月には国際環境NGO「The Climate Group」が運営するEV100(電気自動車100%)に加盟。2030年までに、ASKUL LOGIST(株)が所有する車両をすべて電気自動車にする予定です。

Project

16

ECO-TURN配送



Project

19

自転車でのお届け



「ECO-TURN(エコターン)配送」は、ご注文の商品を再利用可能な折りたたみコンテナ(「通い箱」)でお届けし、コンテナを回収した後に再度お届けに使用する仕組みです。梱包資材の使用量削減に貢献するとともに、お客様先でのダンボール等が発生しない配送を実現しています。

Project

17

お届けを電気自動車でお届け



Project

20

Happy On Time



2016年8月サービス開始の「Happy On Time」は、これまでのお届け時間帯に、早朝便、深夜便を追加し、朝6時から夜24時まで、1時間単位でお客様が受け取り時間を指定することができるサービスです。時間の無駄なく受け取るにより、お客様への再配送を少なくすることができます。その結果、配送車両の走行距離を減らすことができ、環境負荷の低減にもつながっています。

※さらに「置き場所指定配送」「ダンボール回収」などのサービスも実施しています。今後、「Happy On Time」サービスのエリアを拡大する予定です。

Project

18

回収サービス



「有効期限が終了したカタログ」や「商品お届け時に利用したアスクルダンボール・紙袋」の無料回収サービスを行っています。回収したカタログやダンボールは、リサイクル資源に。また、各種トナー・インクカートリッジも無料回収し、リサイクルトナーやリサイクルインクとして再生利用しています。

Webサイトでさらに詳しい情報を発信しています!

アスクルの取り組み①～③はこちら  
<http://1for2.askul.co.jp/>

アスクルの取り組み全般はこちら  
<https://www.askul.co.jp/csr/>

お問い合わせ先	
本書ならびに環境に関するお問い合わせは、右記までお願いします。	アスクル株式会社 環境CSR 電話／03-4330-5565 FAX／03-4330-4810 E-mail／ecoaskul@askul.co.jp
ご注文・商品に関するお問い合わせは、右記までお願いします。	アスクルお問い合わせセンター 電話／0120-345-861 受付時間／月曜日～土曜日 午前8時～午後8時(祝日を除く)

会社概要	
創立	1997年5月21日
本社住所	東京都江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン
電話番号	03-4330-5001(代表)
URL	<a href="https://www.askul.co.jp/kaisya/">https://www.askul.co.jp/kaisya/</a>
資本金	21,189百万円(2018年5月20日現在)
売上金	3,604億円(2018年5月期)

主要な事業内容	
下記商品およびサービスにおける通信販売事業／文房具、事務用品、オフィス家具、什器備品、オフィスインテリア用品、コンピュータ周辺機器、ソフトウェア、書籍、食料品、日用雑貨品、酒類、水、清涼飲料水、衣料品、家庭用電化製品、衛生用品、医薬品、化粧品、医療機器、介護用品、MRO商材、名刺および封筒の印刷作成、伝票等の名入れサービス、オフィスレイアウトサービス	

主要事業所／物流センター	
事業所名	住所
本社	東京都江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン
豊洲フォレストアオフィス	東京都江東区豊洲3-2-24 豊洲フォレスト
ASKUL Value Center日高	埼玉県日高市大字上鹿山字茗荷沢788-1
DCMセンター	東京都江東区青海4-1-16
新砂センター	東京都江東区新砂2-4-17
仙台DMC	宮城県仙台市宮城野区仙台港北2-5-2
ASKUL Logi PARK横浜	神奈川県横浜市鶴見区生麦2-4-6
名古屋センター	愛知県東海市浅山2-47
ASKUL Value Center 関西	大阪府吹田市岸部南3丁目34-1
大阪DMC	大阪市此花区北港緑地2-1-66
ASKUL Logi PARK福岡	福岡県福岡市東区みなと香椎2-2-1



# ASKUL

Eco-Platform for Sustainability

ECO FIRST

エコ・ファースト企業に認定



Electric Vehicles 100

国際的イニシアチブEV100に加盟

EV 100  
by THE CLIMATE GROUP

Renewable Energy 100

RE100に加盟し物流センターに再生可能エネルギー導入

RE 100 °C CDP

アスクルは、脱炭素社会にむけて事業活動におけるCO<sub>2</sub>ゼロにチャレンジしています。

「お客様のために進化する」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現にむけ、お客様、社会、そして地球環境にとって、「最も効率的で環境に配慮した流通プラットフォーム(＝エコプラットフォーム)」を目指し、事業の全領域においてさまざまな活動を展開しています。

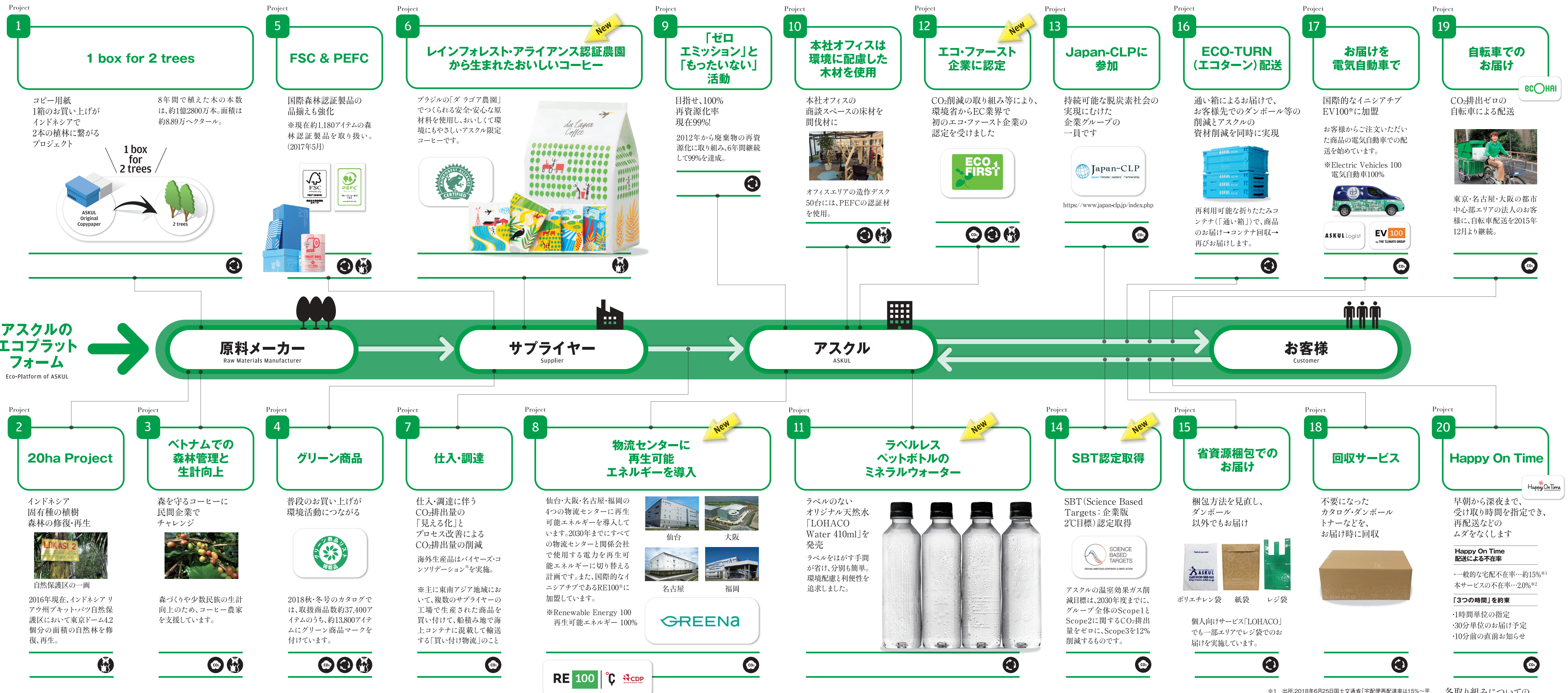


# CO<sub>2</sub>ゼロへのチャレンジ、アスクルのエコプラットフォーム

アスクルは2016年7月14日に「アスクル環境フォーラム2016～CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ・企業間連携の可能性を探る～」を開催。2030年に「CO<sub>2</sub>ゼロにチャレンジすること」を発表いたしました。メーカー・サプライヤー様、お客様と協働して、CO<sub>2</sub>削減の取り組みを進めてまいります。今後、原材料調達からお客様へのお届けまでサプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>ゼロを目指していきます。

環境への  
取り組み  
分野

- 脱炭素への取り組み
- 資源循環への取り組み
- 自然共生・生物多様性への取り組み



※1 出所: 2018年6月25日国土交通省「宅配便再配達率は15%～平成30年4月期の調査結果を公表～」内の調査結果 統計値参照 ・調査対象期間平成30年4月1日～4月30日 ・大手宅配事業者3社の合計値  
※2 本サービス導入による実績 (2017年8月21日～同年9月20日、1時間枠指定の場合)

各取り組みについての詳しい説明は、裏面をご覧ください。

Please Turn Over